

第6回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：平成28年2月18日（木）14：00～16：00

2. 場 所：ホテル千秋閣 6F 孔雀の間

3. 出席委員：木下 覺（徳島県植物研究会 会長）
小林 實（河川・溪流環境アドバイザー）
松田 春菜（四国大学 助教）
森本 康滋（徳島県自然保護協会 会長）
山田 量崇（徳島県立博物館 主任）
山中 亮一（徳島大学大学院 講師）
◎湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 名誉教授）
（河口 洋一（徳島大学 准教授）欠席）

（五十音順、敬称略、◎：委員長）

4. 配付資料：

資料1 議事次第、配席図、委員会規約

資料2 長安ロダム改造事業の進捗状況[概要版]

資料3 環境モニタリング調査の基本方針及び実施状況[概要版]

資料4 長安ロダム改造事業に係る平成27年度モニタリング調査の実施状況及び
評価結果[概要版]

資料5 長安ロダム改造事業に係る平成28年度モニタリング実施計画書(案)[概要版]

別添資料1 長安ロダム改造事業の進捗状況と環境モニタリング調査の基本方針
及び実施状況

別添資料2 長安ロダム改造事業に係る平成27年度モニタリング調査の実施状況
及び評価結果

別添資料3 長安ロダム改造事業に係る平成28年度モニタリング実施計画書（案）

その他 参考 傍聴される方へのお願い

参考 取材についてのおお願い

5. 議 事：

(1) 長安ロダム改造事業の進捗状況について

(2) 平成27年度のモニタリング調査結果について

(3) 平成28年度のモニタリング実施計画（案）について

6. 議事概要：

第 6 回長安ロダム環境モニタリング委員会において、長安ロダム改造事業の進捗状況、環境モニタリングの基本方針及び実施状況、平成 27 年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果、平成 28 年度モニタリング実施計画書(案)について審議を行った。

(1) 環境モニタリング調査の基本方針及び実施状況について(現地視察会報告含む)

- ・現地視察会では、今回の工事がとても難しいこと、また現場の人々が熱意を持って工事を行っていることが分かった。大規模かつ先進的な事業であり、濁水対策にも十分に取り組むなど全国的に参考となる事例でもあるので、情報発信を今後検討してはどうか。

(2) 平成 27 年度モニタリング調査の実施状況及び評価結果について

【騒音・振動】

- ・特になし。

【水環境】

- ・水色調査については、濁水の発生だけでなく、プランクトンの異常増殖などに気付く手がかりとなる第一歩だと思うので、継続して行ってほしい。
- ・水環境の監視を行うにあたり、工事箇所だけでなく、魚類が多くいる場所でも目視確認を実施した方がよい。

【植物】

- ・植物の保全の対応は、全体的にこれ以上ないというくらい非常に熱心に取り組まれている。特にナンゴクウラシマソウについては、移植結果が良好であると考えられる。ラン科の生育状況も概ね良好であるが、ラン科 A については移植が難しいので、今後も生育状況を見ながら順応的管理を行っていく必要がある。
- ・ダム下流は空中湿度が高く、特殊で多様な環境であるので、法面对策のコンクリートの枠内には、一般的な道路法面の対策と同様な活着を優先した種子吹き付けによる施工ではなく、現地の表土を保存しておき、それを吹き付けるとか、モルタルだけを吹き付けるとか、人工的に種子を用いずに自然回復を待つ等の工夫が必要である。
- ・ネズミの食害といった想定外の影響に対しては、周辺の山などに詳しい地元の専門家と密に連絡を取って、異変があった場合には監視頻度を上げる等の順応的管理を行った方がよい。

【猛禽類】

- ・猛禽類の調査は 8 年目であり、調査地点や調査回数等、繁殖状況にあわせ臨機応変に対応できている。今年オオタカは蔭谷付近で出現しているようなので、これから繁殖期にあたり注意し調査してほしい。サシバは毎年のように営巣しており今年も繁殖が期待できると思う。工事の騒音・振動等は影響が大きいので、特に営巣する時期等には注意してほしい。

(3) 平成 28 年度モニタリング実施計画書（案）について

- ・河川域の生態系典型性調査について、底生動物は出水の影響を受ける可能性があるため、調査時期を臨機応変に設定することが望ましい。
- ・選択取水設備の施設運用による魚類への影響については、環境が悪化していないかという観点と、環境が良くなったかという観点の二つの視点で調査地点を絞り込んでいく必要がある。
- ・水環境の評価においては、環境基準値との比較評価だけでなく、近年のデータとも比較し、傾向も踏まえ評価してほしい。

(4) その他

- ・オオタカについては全国的に増えており絶滅危惧種から外れる可能性もあるが、長安口ダムにおける猛禽類のモニタリング調査は継続してほしい。
- ・事業実施区域から遠距離でオオタカが営巣した場合、調査の必要性については適宜相談しながら対応してほしい。
- ・夜間の照明は様々な生物に影響があるので、供用後についても留意してほしい。

以上の議事を踏まえ、平成 27 年度モニタリング調査結果および平成 28 年度モニタリング実施計画書は了承された。

(以上)